

内陸エリア

白石市 角田市 登米市 栗原市 大崎市 富谷市 蔵王町 セツ宿町 大河原町
村田町 柴田町 川崎町 丸森町 大和町 大郷町 大衡村 色麻町 加美町 涌谷町 美里町

栗原市栗駒山



県内陸部の20市町村では、津波の被害こそなかったものの、栗原市で最大震度7を記録し、死者・行方不明者の人的被害のほか、全半壊の住家が約10,000棟に及ぶ大きな被害を受けました。

大崎市では、震災で損壊した国指定史跡名勝「旧有備館および庭園」の復旧工事が平成28年3月に完了しました。旧有備館は、1677年頃に建てられたと言われており、現在までその姿を伝えています。震災により御改所(主屋)や附属屋等に被害がありましたが、できる限り元の材料を再利用して復旧しました。

自動車関連産業では、立地企業が東北地区での生産体制を強化したことにより、関連企業の工場進出が相次いだほか、高度電子機械関連産業についても関連企業の集積が進みました。あわせて、ものづくり産業の復興を担う人材の育成や、新たな産業で活躍できる人材を育成し、多様な雇用機会の創出に努めてきました。

□内陸エリアの被害状況

	地域合計	県内合計
死者	33人	10,567人
行方不明者	5人	1,217人
全壊	1,346棟	83,005棟
半壊	8,502棟	155,130棟

(令和2年12月31日現在)

□応急仮設住宅入居者数

	平成24年4月	令和2年12月
プレハブ住宅	285人	0人
民間賃貸借上住宅	7,980人	7人
計	8,265人	7人

(令和2年12月31日現在)

□災害公営住宅整備状況

	平成31年3月末
計画戸数	360戸
完了戸数	360戸



国指定史跡名勝「旧有備館および庭園」



大和リサーチパーク

内陸エリアの定点観測

栗原市若柳地区

若柳・市道沢辺大岡線では、路面が波打つように大きく崩れましたが、復旧工事を行い、元通り通行できるようになりました。



被災直後

提供：栗原市



被災から10年後

登米市東和地区

東和総合運動公園は、野球場などの法面が崩落し、使用できない状況が続いていましたが、平成27年4月に復旧工事が完了しました。



被災直後

提供：登米市



被災から10年後

大崎市古川江合橋付近

激しい揺れで橋脚が崩壊し、市道も無残に切り裂かれましたが、震災の翌年には元通り復旧しました。



被災直後

提供：大崎市



被災から10年後

白石市白石地区

白石市に所在する「古典芸能伝承の館 碧水園」の茶室も震災により大きな被害を受けましたが、元通り修繕されました。



被災直後

提供：白石市



被災から10年後